

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、Ⅲ、V】
2 実施対象者	札幌市立美しが丘小学校 4年生（34名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間、道徳 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目 標 (ねらい)	札幌オリンピックミュージアムで体験学習を行ったり、オリンピックの話を聞いたりすることで、オリンピックやパラリンピックの理念を知り、他者への共生の思いをもちながら生活する態度を育てる。
5 取組内容	<札幌オリンピックミュージアムを活用した学習> 札幌オリンピックミュージアムで ① オリンピアン（ショートトラックの選手）のお話を聞く ② ミュージアムを体験する ③ リフトでジャンプ台の頂上への3つのプログラムで体験学習を行う ○指導計画 【5 時間扱い】 ①総合的な学習の時間：1 時間(1 6時間扱いの中の) ◆「やさしさ探検隊」～車椅子体験～ ・障害者相談員に來校していただき、車椅子体験を行い、車いすで生活する上での苦勞や子どもたち自身がお手伝いできることを教えてもらう。 ②道徳の時間：1 時間 ◆私たちの道徳（小学校3・4年） 1. 自分を高めて 「やろうと決めたことは最後まで」の頁を読んで、自分はどの

	ようなことをがんばりたいと思っているかを話し合う。 ③東京パラリンピックマスコット投票の際の授業 ◆パラリンピックの理念及びマスコットの役割 ④総合的な学習の時間：1時間(16時間扱いの中の) ◆「やさしさ探検隊」～アダプテッド・スポーツ体験～ ・障害とは何かを考え、心身機能や構造は変えられなくても、用具やルールを変えることでより多くの人たちとスポーツを楽しむことができることを学ぶ。 ④総合的な学習の時間：1時間(16時間扱いの中の) ◆「やさしさ探検隊」～パラリンピックを学ぶ～ ・札幌にある施設を見学し、パラリンピックの理念を知ること、他者との共生の思いをより膨らませる。
6 主な成果	本校の総合的な学習時間の4年生の単元に、「やさしさ探検隊」という車椅子体験を通して、バリアフリーやユニバーサルデザインについて考える学習がある。12月に、障害者相談員の杉本正夫さんに来校していただき、車椅子で生活する上での苦労や子どもたち自身がお手伝いできることなどについて教えていただいた。実際に、車椅子に乗っての体験もした。また1月下旬には、教育大学岩見沢校の協力を得て、「アダプテッド・スポーツ」の体験学習をすることができた。「アダプテッド」とは適合するという意味で、それぞれの身体状況に合わせて運動の内容やルールを工夫していくという考え方である。様々な身体状況の人々が一緒にスポーツを楽しむことを学んだ。オリンピックミュージアムでは、オリンピックの椿文子さんのお話を聞いたり、オリンピックの理念について教えてもらったりした。関係する学習を近い時期で行うことができたということもあり、子どもたちにとって、スポーツというものの幅が広がり、障害者スポーツやオリンピック・パラリンピックへの関心が高まる貴重な学習だった。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8 主な課題等	本校の4年生は、福祉について総合的な学習を中心に学んでいる。 今回の『札幌オリンピックミュージアムを活用した学習』で、パラリンピアンの方の話を聞くことができたり、パラリンピックの様子や意義などを教えてもらったりすることを中心に学習できれば、福祉に関する学習とより関連付けることができると考える。、『札幌オリンピックミュージアムを活用した学習』を他の学習とうまく関連させる指導計画を立てていきたい。
9 来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。